

---

# ファン恋

咲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ファン恋

### 【Nコード】

N8311P

### 【作者名】

咲

### 【あらすじ】

今この瞬間、どれくらいの間が誰かを思っているのだろうか。それはたまたま同じ電車に乗ったイケメンなお兄さんかも知れないし、人気アイドルグループの一人なのかも知れない。はたまた、世間を騒がす犯罪者の場合だってある。俺のように、今日初めて会った女の子のことを考えている輩だっている。人間誰しも想い人がいるもんで、そんなもんいねえって言ってる奴にだつてきつといる。現に俺がその一人だから。俺の想い人は不思議な人で、正直この世のものとは思えない。何故かはそのうち理解できると思う。恋愛も

ファンタジーも苦手だが、どうやらその両方が同時に降ってきたらしい。

## ブローグ時々エピソード

いきなり頭痛がしたと思ったら、次の瞬間には自分は超能力者になっただけで、これまたいきなり現れる悪役のなんとかって野郎を倒したのもつかの間、今度は正義の組織のお偉いさんが出てきて、一緒に戦おうなんて言ってくれたらいいのに。

そんなことを思っていたのは小学校低学年までで、いつの間にか現実に埋もれて夢も見ないようになっていた。

とにかく親の言うとおりに勉強すれば、とりあえずはうまくいった。

テストで百点をとれば、パパもママも頭を撫でて褒めてくれた。俺はそれが嬉しかったし、なにより親も嬉しそうだった。運動も親の言うとおりになんでもした。サッカーも野球もバスケも何でもレギュラーだった。

パパもママも褒めてくれた、でも悲しそうだった。小学校までは何でも出来ていた、でも小学校までだった。しばらくは悲しかった、勉強も運動も並みの成績の自分が恥ずかしかった。

父さんも母さんも怒らなかつた、でも悲しそうだった。いつの間にか友達が出来ていた、多分初めてできた友達だった。父さんと母さんが久しぶりに褒めてくれた、多分今までで一番嬉しそうだった。

なんてちよつとした美談も存在せず、小学校は並みの成績で友達だつて普通にいた。中学も並みの成績で友達だつて普通にいた。

特に可笑しい事件に巻き込まれるわけでもなく、普通に15年間生きてきたわけで、正直マンガやアニメ、小説なんかのファンタジ

ーにカテゴライズされるものに関しては何の興味なし。  
鼻で笑ってやる、そんなもん。

恋愛なんてファンタジー以上にファンタジーで、女心なんてものは魔法以上に理解出来ない。

中二辺りで興味を失ってしまったから、何故かモテた。ああ…あれが非モテの力なんだなと今更ながら思うがそんなことはつくづくどうでもいい。

夏休みが終わってしばらくすると、十人ぐらいに告白されたりしたもんだ。一人はメールで、一人は体育館裏とゆうベタなパターン、また一人はラブレターを下駄箱にとゆう王道もあったな。

いや、まあこの話しもさして重要なわけでもないが。

ある女のおかげで心に深い傷を負った俺は、なんとゆうか女の子が少しばかり苦手なわけで。

まあ、その心に深い傷のくだりはまたいつかしようじゃないか。

とにかくだ、例えどんなに可愛い女の子に言い寄られようこの首が縦に振られることはないと思うんだ。

その逆もありえない。

例えどんなに可愛い女の子が目の前に現れようと俺が心を奪われるわけがない。

などと思っていたんだが、最近はどうも俺を迷わすイレギュラーがいたもんで。

どうしたものか。

もったいぶつてもすぐわかるだろうから、先に言っておくがそれは急にやってくる転校生だ。

この世の不思議を集めてまわる団があったとしたら、真っ先にコ

ンタクトをとりに来るであろう不思議な転校生だ。

この物語が俺の苦手な恋愛ものになるかファンタジーになるか、どっちにする俺はこの物語を好きになれそうにないな。

さて、そろそろ始めよう…そうだな、あの日の登校時からしようか。

俺が永瀬 雪に出会ったあの日から。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8311p/>

---

ファン恋

2011年1月4日03時42分発行